

ハンマーナイフ・モア操作方法

■ キャタピラー自走タイプ

1. 各部名称

全体



スターター紐



走行クラッチレバー



変速レバー



ナイフクラッチレバー



スロットルレバー
電源ON/OFF



■ 自走式タイプ

1. 各部名称

全体



スロットルレバー

スターター紐



走行クラッチレバー



変速レバー ナイフクラッチレバー



電源ON/OFF

2. 操作法

2-1. エンジン始動

変則レバーは「N」、走行クラッチレバーおよびナイフクラッチレバーは「切」、電源を「ON」にし、スロットルレバーを「中間の位置」にした後、スターター紐を引くことでエンジン始動。

※エンジンが始動しない場合は、「チョーク」を空けて閉じたのち、スターター紐を引いて始動操作を行う。

2-2. 草刈り

変則レバーを「1」とし、ナイフクラッチレバーは「ON」にした後、走行クラッチレバーを「ON」にして走行。

畝の高さによりはハンマーナイフの「高低」を調整して、草刈りの位置を合わせる。

草刈りの走行は走行レバーを「2」または「3」に調整。

左右の方向転換は、左右のハンドルレバーにより、左曲がりには左ハンドルレバーを握り、右曲がりには右ハンドルレバーを握って操作する。

※変則レバーの切り替えの際は、必ず走行クラッチレバーを「切」にしてから切り替える。

※ハンマーナイフの位置が低すぎると、土を削るので注意。位置が高いと草が刈れないので、位置調整が重要。

2-3. エンジン停止

走行クラッチレバーを「切」、ナイフクラッチレバーは「切」にして、走行変則レバーは「N」にした後に、電源を「OFF」にする。

2-4. 清掃

ハンマーナイフ周辺の草や土、車輪やキャタピラの凹凸部の土をへら（竹棒など）を使って取り除く。

★ポイント

走行の際に、ハンマーナイフの周辺に刈られた草で詰まる場合があるので、異常なエンジン音がした場合は、一旦停止し、ハンマーナイフに草が詰まっていないか確認し、詰まっている場合は取り除く。

■参考資料

[OWNERS MANUAL \(baroness.co.jp\)](http://baroness.co.jp)

[HM72-R 表紙と目次.pxd \(baroness.co.jp\)](http://baroness.co.jp)

刈り払い機 操作方法

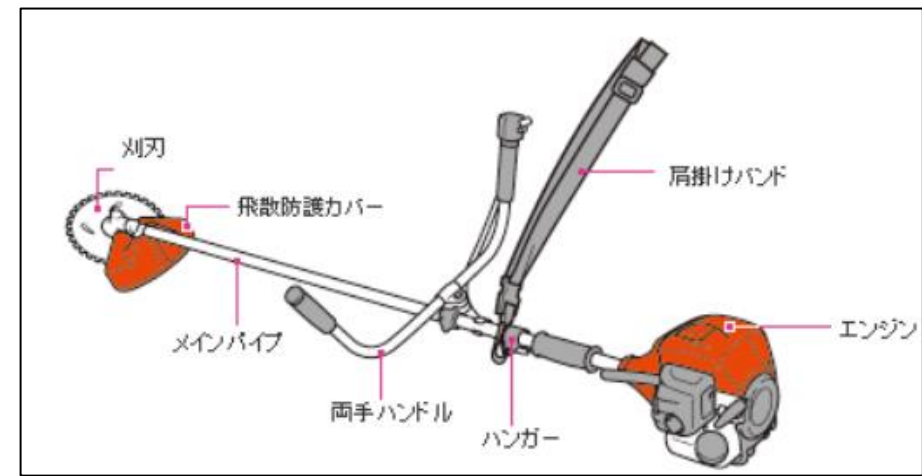
■ 2サイクルエンジン

1. 混合燃料の調整

刈り払い機本体のエンジンオイルタンクキャップ部分に表示

【ガソリン給油の絵文字 + oil】がある場合は、2サイクルエンジンのため、以下のように混合燃料を調整する。

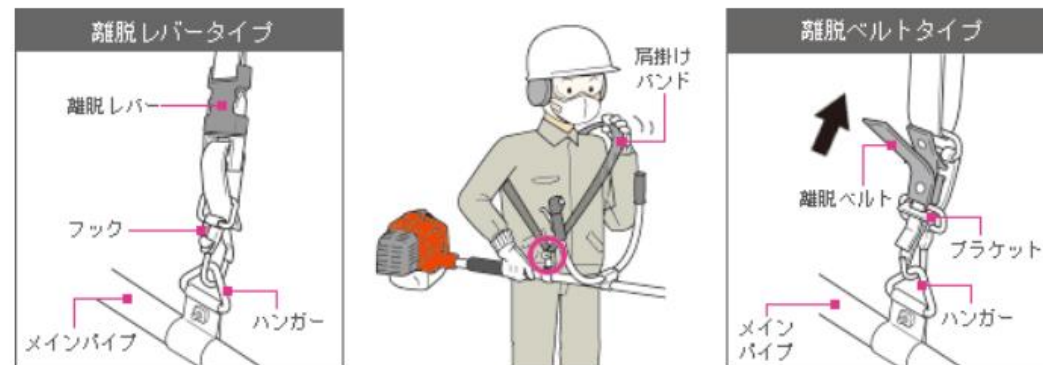
- ・混合燃料の調整用の専用タンク（キャップが2口ついている）の大きいキャップ（タンクが大きい方）にガソリンを所定の目盛りまで入れる。
- ・小さいキャップ（タンクが小さい方）に専用オイルをガソリンの入れた目盛と同じ位置の目盛りまで入れる。
- ・調整用の専用タンクの専用オイルを入れた側を傾けることにより、ガソリンタンク側にオイルが移動して混合される。数回攪拌することによりガソリンとオイルが混合される。
- ・刈り払い機本体のエンジンオイルタンクに調整した混合燃料を入れ、キャップを閉める。
- ・エンジンオイルタンクの周辺の凸部分（膨らみ）を5回程度押して、混合燃料をエンジン側に注入する。



2. 刈り払い機の操作方法

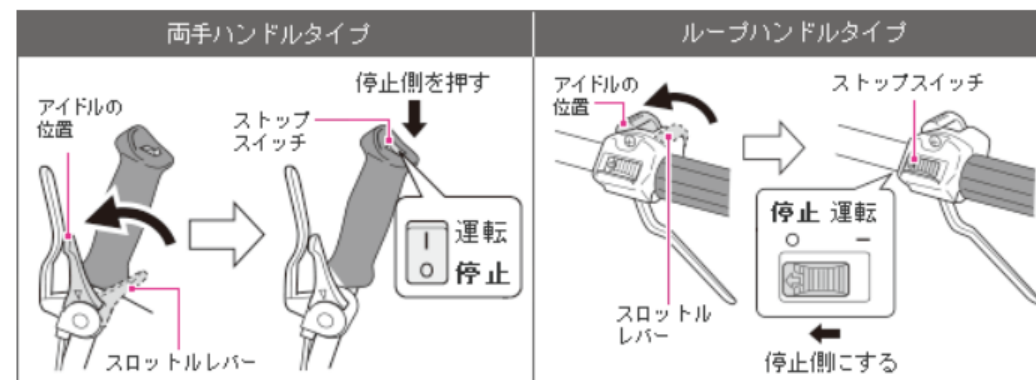
2-1 肩掛け位置の調整

- ・自然に持った時に、刈刃が地面から数センチの位置になるように肩掛けバンドの長さやハンドルレバーの位置を調整する。
- ・肩掛けバンドは、メインパイプの着脱はフックを外して行う。



2-2 エンジンの始動

- ・両手ハンドルのスロットルレバーを「アイドル位置」とし、刈り払い機本体のチョークレバーを上げて「始動」にして、スターター紐を引きエンジンを始動させる。エンジンが始動しないときは、スターター紐を何回か引く操作を繰り返す。
- ・エンジンが始動したら、チョークレバーを下げる。
※スロットルレバーを「アイドル位置」から少し引くことにより、チョークレバーは下がる。

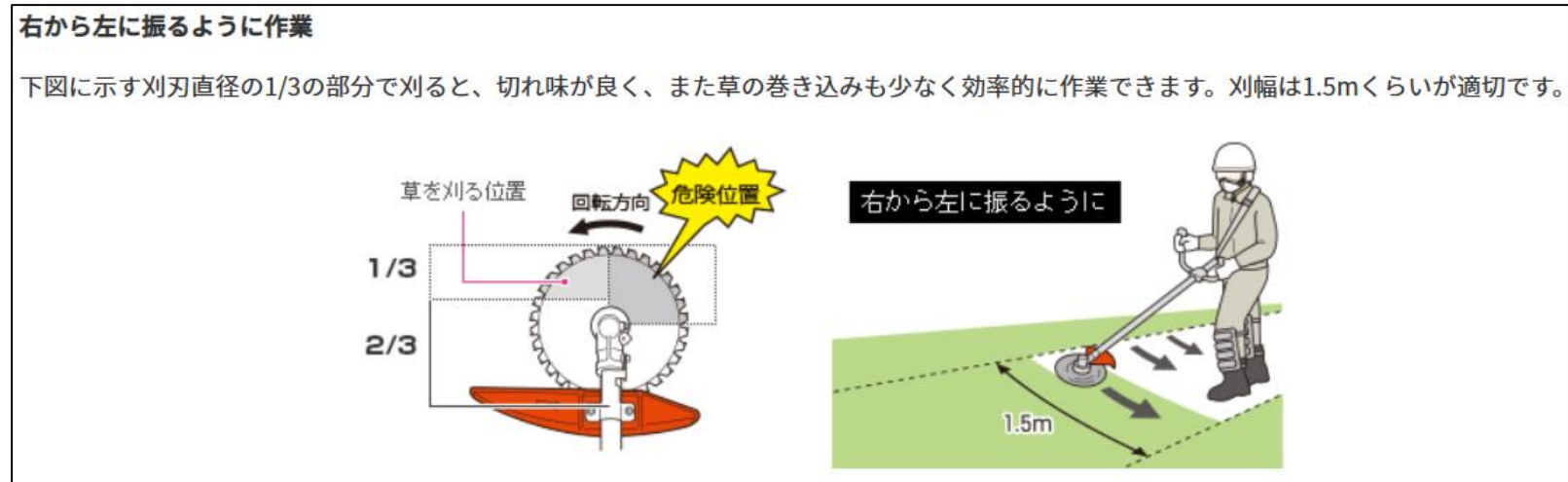


2-3 刈り払い機の操作

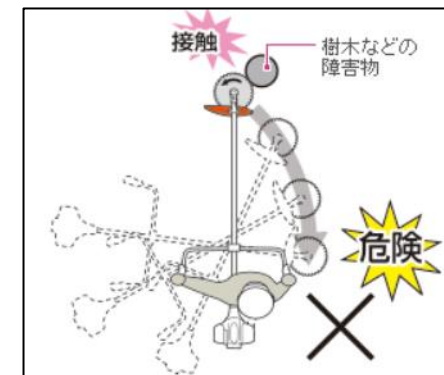
・刈刃は左回転（反時計回り）するため、先端より左側で草を刈ることになるため、作業者の右側から左側に刈刃を動かして刈ることになる。

※刈刃は草に対して鋭角（20～30℃）にして操作する。

・スロットルレバーは通常は半開程度で十分刈れるが、草が密集している場合等は回転数を上げて操作する。



- 注意) 1. 刈り払い機の作業は、周囲 1.5 m以内に人や動物を近づけないこと。
2. 刈刃の先端より右側に障害物や硬い地面に接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返り（キックバック）が起こるので注意する。



2-4 エンジンの停止

- ・スロットルレバーを「アイドル位置」にして、停止する。

2-5 刈り払い機の保管

- ・刈刃などに付いている草などを取り除く。必要に応じて刈刃を水洗いする。
- ・エンジンオイルタンクから混合燃料を保管容器に空けて、エンジンオイルタンク内を空にする。

■ 参考資料

[エンジン刈払機の正しい使い方 - HiKOKI \(hikoki-powertools.jp\)](http://hikoki-powertools.jp)